

日本語の乱れは五十音図の欠陥にあり！

「ゐ」と「ゑ」の復権・復活を図ろう！

今、NHKテレビで人気番組の「言葉ゲーム」を、在日外国人の日本語教室の教材に利用しようと思い、実際に200語ばかり作ってみました。乗り物や生物、昆虫などをテーマとし、二字構成の簡単な言葉から「ぶぬぬでバナナ」を作っていくうちに次第に語数が増えて行き、「輸送船：ゆそうせん」を変換する段階になって、ハタと、行き止まりました。「ゆ」の一字上の五十音図は「や い ゆ え よ」と表記されていますので「い」となります。次の『そ』は一字繰り上がって『せ』となりますし、同様に『う』は『い』となって、正解を求める「ゆそうせん」を示す「ぶぬぬでバナナ」の問題は「いせいすん」となり、これを一字ずつ下げた解答は「うそうせん」と変換されてしまい、本来の正解「ゆそうせん」に正しく戻せない結果となります。

この欠陥の原因は戦後、文部省が制定した現在の「五十音図」に起因します。

ローマ字で表記すれば「Ya Yi Yu Ye Yo」となるべきところを、「や い ゆ え よ：Ya I Yu E Yo」と安易な基本体系を作成し、「わ行」でも「わ い う え を：Wa I U E Wo」と表記し、「ゐ」と「ゑ」の二文字を完全に抹殺してしまい、『わ を ん』と省略。手抜き・欠陥の五十音図を作成してしまったのです。この五十音図の欠陥を外国人に説明せよと言われたら、「文部科学省に質問してください。」と、答えるより仕方がないと考えておりますが、言語学専門の外国人学者を含め、一般の外国人に対し、この五十音図の基本体系の矛盾と錯誤を現在の文部科学省は、一体どのように説明責任を果たしてくれるのでしょうか。

「いろは48文字」にはちゃんと「ゐ」と「ゑ」が存在するにもかかわらず、言葉の基本体系となる五十音図には存在しない。こんな片手落ちは国語としての日本語の根幹を冒瀆するものです。

日本文化の根幹となる五十音図の欠陥を矯正し、正常化を図り、国字「ゐ」と「ゑ」の復権・復活を果たすよう、早急に対処していただくよう要望するものです。

正常な五十音図に戻すための小さな運動を、私は国字「ゐ」と「ゑ」の復権・復活運動と称し、本日（平成17年：2005年：3月1日）から、あらゆる手段を駆使して展開したいと決意し、以下のごとく改善するよう1つの私案を提案します。

や行・・・「や□ゆ□よ」 ローマ字表記の「Yi」「Ye」に該当する日本語の文字は存在しないと明言した上でこれを空白で示し、このや行の「や ゆ よ」は拗音を表示する「きゃ きゅ きょ」「しゃ しゅ しょ」などの導入基礎を提示するものである、と説明すれば理解が得られます。

わ行は・・・「わゐ□ゑを」 と表示すれば、五十音図の基本体系を乱すことなく、48文字のフル・エントリーが立派に成り立ちます。「Wu」に相当する日本語古来の文字は存在しないと、明言すれば万人が納得できます。

従って、このように表記を改善すれば前記の「ゆそうせん」は「やせいすん」と問題表記が出来、正しく「輸送船：ゆそうせん」と変換することが可能となります。

戦前に生れた方々の中には、名前をつけてもらったとき、「ゐ」と「ゑ」の二文字を授けられた人も沢山いるはずです。全国のこうした方々と連携して「ゐ」と「ゑ」の復権・復活運動を展開したいと考えております。個人的な話で憚りますが、小生の姓のかな表記は昔は「ながを」と記入していましたが、現在は「ながゐ」「ナガオ」と記入、その都度、未だに違和感を抱いている始末です。何故「ながを」とルビを振ってはいけないのか、という疑念が付きまとして離れません。

言葉遊びに戻りますが、わ行の「ゐ」は漢字の「為」の字の行・草書体から導入されたもののようで、「居合い抜き」という言葉は、かつては「ゐあいぬき」と表記されていたものです。

NHK のこの番組を作成しているスタッフ諸氏は、既にこの五十音図の欠陥を先刻ご承知のことと思います。正常な五十音図に戻す運動に賛同していただけるなら、NHK の総力を挙げて共同作戦を展開してくださるよう切望します。

日本語の乱れの根源的な原罪は「い」と「ゐ」、「え」と「ゑ」の識別を放棄した手抜きにあると断言して憚りません。や行の「や い ゆ え よ」という「い」と「え」の重複表記も「Yi = I」と「Ye = E」に該当する文字が存在しないにも拘らず、安易に「い」と「え」の文字を嵌め込んで、二重の誤謬を犯した結果に他なりません。

今なお旧仮名遣いを頑固に固執する方々の存在することも良く承知しておりますが、何はさておいても古来から存在し続けた、国字「ゐ」と「ゑ」の復権・復活運動に賛同していただき、この欠陥を矯正する運動に対して絶大なるご支援を賜りますよう心からお願いする次第です。

NHK 以外の方々も、「この矛盾を解決し、欠陥を矯正したい」と、お考えの方々は、声を大にして正常化を進めるようご協力を心からお願いする次第です。

この「ゐ」と「ゑ」の復権・復活運動が成功することは生易しいものでないことは、凡そ、素人にも容易に見当がつきます。戦後 55 年間、日本国中の国語表記が、「ゐ」と「ゑ」を欠落したままの暗黒状態で体制が統一され、全国の学校教科書から新聞・雑誌、全ての印刷物に至るまで、この五十音図が適用されている現状に鑑み、一旦手抜きの安易さが定着してしまった以上、これを正規に戻すのは 2 倍、3 倍の、いや、もっともっと多くの労力と時間を必要とします。

恐らく、日本国憲法の改正問題、教育基本法の見直し、と、同じ位の重要度を有する国字改革の意識と見識を持ったうえ、覚悟を決めて臨まないことには、到底、達成不可能となり、古来の国字「ゐ」と「ゑ」は未来永劫に抹殺される結果となってしまうのではないかと危惧する次第です。

そうならない為に、この機を逃すことなく国字「ゐ」と「ゑ」の復権・復活運動を展開しようではありませんか。深いご理解と絶大なるご支援を賜りますよう、伏してお願い申し上げる次第です。この文書をメール又は文書で受け取った方々は、ご賛同を得た上で知人・友人に転送して頂ければ、更なる運動の前進と拡大に繋がるものと確信します。是非、是非、ご協力下さい。お願いします。

合掌

百万人と雖も我行かん！ ・ ・ ・ 今から直ちに、小さな一步のスタートを印します。 ・ ・ ・

平成 17 年 (2 0 0 5 年) 3 月 1 日

〒511-0902 三重県桑名市松ノ木 4 - 7 - 2 6

長尾 周幸 (ナガラ カネユキ：74 歳)

Tel.&Fax. : 0594-32-2139

E-メール : k-nagao@intsurf.ne.jp